

平成 18 年 2 月実施。回答 202 名

I 質問ごとにあてはまる番号を一つだけ選んでください。あてはまるものがないときは、一番近いものを回答してください。

- 1 本年度、主に担当している課程及び学科を一つ選んでください。

① 全日制・普通科 178 名	② 全日制・普通科以外 14 名
③ 定時制・通信制・普通科 9 名	④ 定時制・通信制・普通科以外 1 名

- 2 本年度、地理歴史科、公民科のうち、どの科目を中心に教えていますか。一つ選んでください。

① 日本史	② 世界史	③ 地理	④ 現代社会	⑤ 政治・経済	⑥ 倫理
68 名	65 名	23 名	32 名	10 名	4 名

- 3 「学習指導要領の一部改正等について」（平成 15 年 12 月）に示された「確かな学力」に含まれる「思考力・判断力」が、最近の生徒において、低下していると思いますか。

① かなり思う	② まあまあ思う	③ あまり思わない	④ まったく思わない
25.2%	49.5%	24.3%	1.0%

- 4 ご自身の授業で、生徒の「思考力・判断力」が育てられていると思いますか。

① 思う	② 十分ではないができています	③ そう思わない	④ よくわからない
3.9%	43.6%	32.2%	20.3%

- 5 主題学習や課題追究学習を取り入れた授業を行うことによって、生徒の「思考力・判断力」を育成できると思いますか。

① かなり思う	② まあまあ思う	③ あまり思わない	④ まったく思わない
4.9%	58.9%	31.7%	4.5%

- 6 あなた自身、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業を行っていますか。

① 行っている方だ 3.5%	② どちらかといえば行っている方だ 25.2%
③ どちらかといえば行っていない方だ 46.5%	④ 行っていない方だ 24.8%

- 7 主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業において、工夫すれば生徒の「思考力・判断力」を育成できると思いますか。

① かなり思う	② まあまあ思う	③ あまり思わない	④ まったく思わない
16.8%	61.4%	20.8%	1.0%

- 8 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業において、「思考力・判断力」を育成する工夫をしていますか。

① 積極的にしている 8.8%	② 時々している 64.6%	③ あまりしていない 24.7%	④ まったくしていない 1.3%
------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------

- 9 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業の中で、生徒に対する発問において、生徒の思考を促す工夫をしていますか。

① 積極的にしている 13.3%	② 時々している 64.5%	③ あまりしていない 16.5%	④ まったくしていない 3.2%
-------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------

- 10 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業

以外の授業の中で、学級全体やグループ（班）等で討論する（話し合う）場面を設定していますか。

- ① 積極的にしている **1.3%** ② 時々している **11.4%** ③ あまりしていない **34.8%**
④ まったくしていない **49.4%**

11 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業で、板書するときやノートに記入させる上で、生徒の思考を促したり思考過程を表現させたりするような工夫をしていますか。

- ① 積極的にしている **8.2%** ② 時々している **41.8%** ③ あまりしていない **34.2%**
④ まったくしていない **10.1%**

12 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業で使用するプリント（ワークシート）を作成する上で、生徒の思考を促したり、思考過程を表現させたりするような工夫をしていますか。

- ① 積極的にしている **8.9%** ② 時々している **36.7%** ③ あまりしていない **34.8%**
④ まったくしていない **13.9%**

13 7で①か②に回答された方に質問します。ご自身の、主題学習や課題追究学習を取り入れた授業以外の授業の中で、プリント（ワークシート）やノート等を、座席の隣同士など、他の生徒と見せ合う場面を設定していますか。

- ① 積極的にしている **0.6%** ② 時々している **16.5%** ③ あまりしていない **31.6%**
④ まったくしていない **46.2%**

14 定期考査では、「思考力・判断力」を評価する問題を出していますか。

- ① 常に出題することに心掛けている **17.8%** ② ときどき出題している **46.1%**
③ あまり出題したことがない **27.2%** ④ ほとんど出題したことがない **8.9%**

15 14で①か②に回答された方に質問します。定期考査では、「思考力・判断力」を評価する問題として、主にどのような形式の問題を出していますか。

- ① 語句の選択 **3.1%** ② 文章の選択 **17.8%** ③ 語句による穴埋め **5.4%**
④ 文章による穴埋め **3.1%** ⑤ 並び替え **3.1%** ⑥ 論述 **61.3%** ⑦ その他 **5.4%**

16 定期考査以外で、主にどのような場面や方法で「思考力・判断力」を評価していますか。

- ① 授業 **27.7%** ② レポート等の課題 **27.2%** ③ 授業とレポート等の課題 **15.8%**
④ ほとんど行っていない **26.8%** ⑤ その他 **1.5%**

Ⅱ 次の各質問について、自由に記述してください。

1 Iの3で①か②に回答された方に質問します。どのようなとき、どのような場面で、最近の生徒は「思考力・判断力」が低下していると思いますか。

2 主に担当している科目における「思考力・判断力」とはどのようなものであると思いますか。

3 Iの8, 9, 10, 11, 12, 13のいずれかで、①か②に回答された方に質問します。どのような工夫をしていますか。なるべく具体的にお書きください。

4 生徒の「思考力・判断力」を育成するために、普段又は長期休業時に出している課題があれば、どのような内容のものか、なるべく具体的にお書きください。

5 Iの15で、「⑦ その他」と回答された方は、なるべく具体的にお書きください。

6 Iの16で、「⑤ その他」と回答された方は、なるべく具体的にお書きください。

県内地理歴史科・公民科教員対象のアンケート 全体データ

平成18年2月実施。回答202名

分類項目	全体	課程・学科		教科・科目			全・普			
		全・普	他	歴史	地理	公民	歴史	地理	公民	
人数	202	178	24	133	23	46	117	21	40	
3 「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	25.2	25.3	25.0	27.1	17.4	23.9	26.5	14.3	27.5
	②まあまあ思う	49.5	51.7	33.3	50.4	47.8	47.8	52.1	47.6	52.5
	③あまり思わない	24.3	21.9	41.7	21.8	34.8	26.1	20.5	38.1	17.5
	④まったく思わない	1.0	1.1	0.0	0.7	0.0	2.2	0.9	0.0	2.5
4 自身の授業で「思考力・判断力」の育成ができていますか	①思う	3.9	4.5	0.0	4.5	4.4	2.2	5.1	4.8	2.5
	②十分ではないができています	43.6	42.7	50.0	43.6	39.1	45.7	44.4	33.3	42.5
	③そう思わない	32.2	31.5	37.5	34.6	39.1	21.7	32.6	42.9	22.5
	④よく分からない	20.3	21.3	12.5	17.3	17.4	30.4	17.9	19.0	32.5
5 主題学習・課題追究学習で育成できるか	①かなり思う	4.9	3.9	12.5	6.0	8.7	0.0	4.3	9.5	0.0
	②まあまあ思う	58.9	59.6	54.2	56.4	69.6	60.9	58.1	66.7	60.0
	③あまり思わない	31.7	32.0	29.2	33.1	21.7	32.6	32.5	23.8	35.0
	④まったく思わない	4.5	4.5	4.1	4.5	0.0	6.5	5.1	0.0	5.0
6 主題学習・課題追究学習を取り入れているか	①行っている方だ	3.5	3.4	4.1	4.5	4.4	0.0	4.3	4.8	0.0
	②どちらかといえば行っている方だ	25.2	23.6	37.5	23.3	34.8	26.1	22.2	28.5	25.0
	③どちらかといえば行っていない方だ	46.5	47.2	41.7	51.1	21.7	45.7	51.3	23.8	47.5
	④行っていない方だ	24.8	25.8	16.7	21.1	39.1	28.2	22.2	42.9	27.5
7 主題学習、課題追究学習以外で育成できると思うか	①かなり思う	16.8	18.0	8.3	19.5	13.0	10.9	21.4	9.5	12.5
	②まあまあ思う	61.4	61.8	58.4	56.4	69.6	71.7	57.3	71.5	70.0
	③あまり思わない	20.8	19.1	33.3	22.6	17.4	17.4	19.6	19.0	17.5
	④まったく思わない	1.0	1.1	0.0	1.5	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0
8 主題学習、課題追究学習以外の授業で育成する工夫をしているか。	①積極的にしている	8.8	9.1	6.2	7.9	15.8	7.9	8.7	11.8	9.1
	②時々している	64.6	62.0	87.6	64.4	52.6	71.0	62.0	52.9	66.7
	③あまりしていない	24.7	26.8	6.2	26.7	21.0	21.1	28.2	23.5	24.2
	④まったくしていない	1.3	1.4	0.0	1.0	5.3	0.0	1.1	5.9	0.0
	未回答	0.6	0.7	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.9	0.0
9 発問の工夫	①積極的にしている	13.3	14.1	6.2	14.8	10.5	10.5	16.2	5.9	12.1
	②時々している	64.5	62.0	87.6	61.4	63.2	73.7	58.7	64.7	69.7
	③あまりしていない	16.5	18.3	0.0	17.8	21.0	10.5	19.6	23.5	12.1
	④まったくしていない	3.2	3.5	0.0	3.0	0.0	5.3	3.3	0.0	6.1
	未回答	2.5	2.1	6.2	3.0	5.3	0.0	2.2	5.9	0.0
10 討論する場面の設定	①積極的にしている	1.3	1.4	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	6.1
	②時々している	11.4	12.0	6.2	12.8	10.5	7.9	13.0	11.8	9.1
	③あまりしていない	34.8	33.8	43.8	32.7	31.6	42.1	33.7	23.5	39.3
	④まったくしていない	49.4	50.0	43.8	50.5	52.6	44.7	50.0	58.8	45.5
	未回答	3.1	2.8	6.2	4.0	5.3	0.0	3.3	5.9	0.0

分類項目	全体	課程・学科		教科・科目			全・普			
		全・普	他	歴史	地理	公民	歴史	地理	公民	
11 板書, ノート記入上の工夫	①積極的にしている	8.2	9.2	0.0	8.9	10.5	5.3	9.8	11.8	6.1
	②時々している	41.8	40.1	56.3	35.6	52.6	52.7	33.7	47.0	54.5
	③あまりしていない	34.2	34.5	31.3	37.7	26.3	28.9	38.0	29.4	27.3
	④まったくしていない	10.1	10.6	6.2	10.9	5.3	10.5	12.0	5.9	9.1
	未回答	5.7	5.6	0.0	6.9	5.3	2.6	6.5	5.9	3.0
12 ワークシートの工夫	①積極的にしている	8.9	8.5	12.5	8.9	5.3	10.5	8.7	0.0	12.1
	②時々している	36.7	35.2	50.0	31.7	42.0	47.4	30.4	41.2	45.5
	③あまりしていない	34.8	35.9	25.1	40.6	31.6	21.1	41.4	35.3	21.2
	④まったくしていない	13.9	14.8	6.2	11.9	15.8	18.4	13.0	17.6	18.2
	未回答	5.7	5.6	0.0	6.9	5.3	2.6	6.5	5.9	3.0
13 生徒同士がワークシートやノートを見せ合う場面	①積極的にしている	0.6	0.7	0.0	1.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	②時々している	16.5	16.9	12.5	13.9	26.3	15.8	14.1	29.4	18.2
	③あまりしていない	31.6	30.3	43.8	30.7	31.6	34.2	30.4	29.4	30.3
	④まったくしていない	46.2	47.2	37.5	48.5	36.8	47.4	48.9	35.3	48.5
	未回答	5.1	4.9	6.2	0.0	5.3	2.6	5.4	5.9	3.0
14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題	①常に出题することを心掛けている	17.8	17.4	20.8	15.0	39.1	15.2	15.4	33.3	15.0
	②ときどき出题している	46.1	46.1	45.8	46.6	34.8	50.0	45.3	38.1	52.5
	③あまり出题したことがない	27.2	28.1	20.8	29.4	17.4	26.1	30.8	14.3	25.0
	④ほとんど出题したことがない	8.9	8.4	12.6	9.0	8.7	8.7	8.5	14.3	7.5
15 出題の形式	①語句の選択	3.1	3.5	0.0	2.4	5.9	3.3	2.8	0.0	3.7
	②文章の選択	17.8	19.5	6.2	17.1	5.9	26.7	18.3	8.3	29.6
	③語句による穴埋め	5.4	5.3	6.2	7.3	5.9	0.0	7.1	0.0	0.0
	④文章による穴埋め	3.1	3.5	0.0	3.7	5.9	0.0	4.3	8.3	0.0
	⑤並び替え	3.1	3.5	0.0	4.9	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0
	⑥論述	61.3	58.5	81.4	58.5	64.6	66.7	54.9	83.4	63.0
	⑦その他	5.4	5.3	6.2	4.9	11.8	3.3	5.6	0.0	3.7
	未回答	0.8	0.9	0.0	1.2	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
16 定期考査以外の場面での評価	①授業	27.7	28.1	25.0	28.6	21.7	28.2	31.0	23.8	30.0
	②レポート等の課題	27.2	27.0	29.2	24.8	30.4	32.6	25.4	28.5	32.5
	③授業とレポート等の課題	15.8	15.7	16.7	16.5	8.7	17.4	18.3	4.8	17.5
	④ほとんど行っていない	26.8	27.0	25.0	27.8	34.8	19.6	23.9	38.1	17.5
	⑤その他	1.5	1.1	4.1	2.3	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0
	未回答	1.0	1.1	0.0	0.0	4.4	2.2	0.0	4.8	0.0

全・普…全日制普通科

他 …全日制普通科以外の課程・学科

内訳 全日制・普通科以外 14名

定時制・通信制・普通科 9名

定時制・通信制・普通科以外 1名

教員用アンケート（クロス集計）

		4 自身の授業で「思考力・判断力」の育成ができていますか				合計
		①思う	②まあまあ思う	③あまり思わない	④まったく思わない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	2	15	25	9	51
	②まあまあ思う	1	46	32	21	100
	③あまり思わない	3	27	8	11	49
	④まったく思わない	2	0	0	0	2
合計		8	88	65	41	202

		5 主題学習・課題追究学習で育成できるか				合計
		①かなり思う	②まあまあ思う	③あまり思わない	④まったく思わない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	1	26	22	2	51
	②まあまあ思う	4	63	31	2	100
	③あまり思わない	5	30	11	3	49
	④まったく思わない	0	0	0	2	2
合計		10	119	64	9	202

		6 主題学習・課題追究学習を取り入れているか				合計
		①行っている方だ	②どちらかといえば行っている方だ	③どちらかといえば行っていない方だ	④行っていない方だ	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	0	13	23	15	51
	②まあまあ思う	3	22	50	25	100
	③あまり思わない	3	16	21	9	49
	④まったく思わない	1	0	0	1	2
合計		7	51	94	50	202

		7 主題学習・課題追究学習以外で育成できると思うか				合計
		①かなり思う	②まあまあ思う	③あまり思わない	④まったく思わない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	5	32	12	2	51
	②まあまあ思う	19	63	18	0	100
	③あまり思わない	9	28	12	0	49
	④まったく思わない	1	1	0	0	2
合計		34	124	42	2	202

		8 主題学習・課題追究学習以外の授業で育成する工夫をしているか				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	3	23	11	1	38
	②まあまあ思う	5	55	23	1	84
	③あまり思わない	5	27	6	0	38
	④まったく思わない	1	1	0	0	2
合計		14	106	40	2	202

		9 発問の工夫				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	3	29	5	1	38
	②まあまあ思う	10	55	14	2	81
	③あまり思わない	7	22	7	2	38
	④まったく思わない	1	0	1	0	2
合計		21	106	27	5	159

		10 討論する場面の設定				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	0	6	14	18	38
	②まあまあ思う	2	9	30	39	80
	③あまり思わない	0	3	14	20	37
	④まったく思わない	0	1	0	1	2
合計		2	19	58	78	157

		11 板書、ノート記入上の工夫				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	6	0	16	2	24
	②まあまあ思う	2	43	25	8	78
	③あまり思わない	4	11	14	6	35
	④まったく思わない	1	0	1	0	2
合計		13	54	56	16	139

		12 ワークシートの工夫				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	5	12	14	6	37
	②まあまあ思う	5	34	28	11	78
	③あまり思わない	3	15	13	5	36
	④まったく思わない	1	1	0	0	2
合計		14	62	55	22	153

		13 生徒同士がワークシートやノートを見せ合う場面の設定				合計
		①積極的にしている	②時々している	③あまりしていない	④まったくしていない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	0	6	16	16	38
	②まあまあ思う	0	14	26	38	78
	③あまり思わない	1	7	10	18	36
	④まったく思わない	0	0	1	1	2
合計		1	27	53	73	154

		14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題				合計
		①常に出題することを心掛けている	②ときどき出題している	③あまり出題したことがない	④ほとんど出題したことがない	
3「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	9	22	13	7	51
	②まあまあ思う	18	45	29	8	100
	③あまり思わない	8	25	13	3	49
	④まったく思わない	0	1	0	0	1
合計		35	93	55	18	201

		15 出題の形式							合計
		①語句 の選択	②文章 の選択	③語句 による 穴埋め	④文章 による 穴埋め	⑤並び 替え	⑧論述	⑦その 他	
3 「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	1	4	4	0	2	20	1	32
	②まあまあ思う	2	11	3	2	1	40	5	64
	③あまり思わない	1	7	1	2	1	21	1	34
	④まったく思わない	0	1	0	0	0	1	0	2
合計		4	23	8	4	4	82	7	132

		16 定期考査以外の場面での評価					合計
		①授業	②レポート 等の課題	③授業とレ ポート等の 課題	④ほとんど 行っていない	⑤その他	
3 「思考力・判断力」は低下しているか	①かなり思う	0	10	11	15	2	38
	②まあまあ思う	29	29	15	26	0	99
	③あまり思わない	13	16	5	13	1	137
	④まったく思わない	1	0	1	0	0	2
合計		43	55	32	54	3	276

		14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題				合計
		①常に出題す ることを心掛 けている	②ときどき出 題している	③あまり出題 したことがな い	④ほとんど出 題したことが ない	
4 自身の授業で「思考力・判断力」の育成ができていますか	①思う	3	4	0	1	8
	②十分ではないができています	18	43	24	3	88
	③そう思わない	7	28	20	10	65
	④よく分からない	8	18	11	4	41
合計		36	93	55	18	202

		14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題				合計
		①常に出題す ることを心掛 けている	②ときどき出 題している	③あまり出題 したことがな い	④ほとんど出 題したことが ない	
6 主題学習・課題追究学習を取り入れているか	①行っている方だ	1	6	0	0	7
	②どちらかといえば行っている方だ	15	21	13	2	51
	③どちらかといえば行っていない方だ	10	53	25	6	94
	④行っていない方だ	10	13	17	10	50
合計		36	93	55	18	202

		14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題				合計
		①常に出題することを心掛けている	②ときどき出題している	③あまり出題したことがない	④ほとんど出題したことがない	
8 主題学習、課題追究学習以外の授業で育成する工夫をしているか	①積極的にしている	7	6	1	0	14
	②時々している	22	55	25	4	106
	③あまりしていない	4	17	16	3	40
	④まったくしていない	0	0	1	1	2
合計		33	78	43	8	162

		15 出題の形式							合計
		①語句の選択	②文章の選択	③語句による穴埋め	④文章による穴埋め	⑤並び替え	⑥論述	⑦その他	
14 定期考査での「思考力・判断力」を評価する問題	①常に出題することを心掛けている	2	9	2	0	0	21	2	36
	②ときどき出題している	2	14	5	4	4	58	5	92
	③あまり出題したことがない	0	0	1	0	0	2	0	3
	④ほとんど出題したことがない	0	0	0	0	0	1	0	1
合計		4	23	8	4	4	82	7	132

自由記述 ※極力原文のまま、内容がほとんど同じものは割愛し、内容により大まかに分類した。

Ⅱの1 どのようなとき、どのような場面で、最近の生徒は「思考力・判断力」が低下していると思いますか。

◎考えようとせず、思考停止の状態になる。

授業時の発問場面

- ・発問に対する生徒の回答が、こちらが想定しているレベルに達せず、簡単に「わかりません」と答えてしまうケースが多くなってきている。
- ・授業中に思考・判断を要する発問をしても考えようとせず、すぐ「わかりません」と答える。その背景には思考・判断の基になる基礎知識が不足している。
- ・常識と思われる基礎的な事項を知らない場合が多いので、設問が発展していかない。
- ・発問しても、返答が軽い考えであることが多い。
- ・個人に対する発問、返答をうながす場面、個人単位で論述・説明を文章化させる場面などにおいて思考停止が多くなったと感じる。
- ・発問に対して深く考えることなく、わからないと答える生徒が多い。
- ・質問をしても最初から思考を止めてしまい、「わかりません」で済ましてしまう場面を多く目にする。
- ・こちらが簡単な事柄や基本的常識的なことを発問しても、自分で考えようとせず、すぐに解答を求めたがる。
- ・すぐに解答（回答）を求めたがる。理由・原因・結果をなぜ起こったかという過程でとらえることができない
- ・授業中の質問に対して、考えて一つの答えを求めようとする姿勢が余りない。
- ・問答法により次々に質問して答えさせていくのだが、筋道を立てて粘り強く考えていこうとしなくなる

ってきている。

- ・授業時の発問において、受身の姿勢のためか決まりきった言葉で対応しようとする。
- ・史料や絵画資料を見て、描かれていること・ものを指摘させようとする、考えようとしない。
- ・複数の条件を総合して考えを整理することを求めたとき、どう考えて良いかわからず、断念してしまう生徒が多くなった。

プリント

- ・どんなプリントでも、あらかじめ解答プリントが配付されていないことにこだわる。
- ・考える材料を提供しても、自分で考えようとせず、他の生徒が発表した内容を教師が板書したものをプリントに写して済ませてしまう。

定期考査

- ・論述問題を答えない生徒が増えた。白紙解答をする。無解答が目立つ。
- ・問題を解くのではなく、解答を暗記する学習法が染みついている。
- ・語句の暗記に終わっており、論述することができない。
- ・考査における解答（論術問題など）が書かれていない。書いてあっても論旨が一貫していない。
- ・論述問題を出題すると、全くお手上げで、何も書かない（書けない）。
- ・定期考査の答案に空白がみられる。
- ・定期考査・模試など思考力をみる問題に答えられない、考えようとしない。

その他

- ・授業時のみならず、行事・部活動など日常の学校生活においても、じっくり考えて判断することを避けたがる生徒が多い。
- ・日常の学校生活でも授業でも一つのことに對してそれがどう影響するかという考え方をせず、つながりなどを考えない。
- ・「思考力・判断力」が低下しているというより、全般に思考し、判断しようとする意欲が低下していると思う。

◎論理的に答えられない。

授業時の発問場面

- ・歴史の因果関係に関する質問に対して、あまりまともに答えることができないことが多くなってきている。
- ・ある歴史事象が発生した理由を考えて答えさせようとする質問などに全く答えられない生徒が増えてきているように思う。
- ・教科書に記載されている質問は答えられるが、考えさせたり、判断させたりする発問については答えられない。
- ・発問したときなど、単語的な答えはできるが、背景や理由などに関わると答えられない。
- ・意見を聞くと答えられないか、結論のみを答えて根拠がない。
- ・暗記にとどまり、考えを発展できない生徒が多い。
- ・「どう考えるか」と問い掛けても反応が悪い。論理的な部分で思考するというより、多くは感情面において判断しているように感じる。
- ・復習のための質問にもなかなか答えられない。生徒が自分で資料等を見て考えることができない。
- ・社会で生じている様々な問題について意見・感想を問うと、「ひどい」「信じられない」などの感傷的な言葉のみで、論理的な解答がない。
- ・知識を活用して思考させる発問をしても、その知識があるにもかかわらず活用できない生徒が増えたように感じる。
- ・質問に対して、適切な返答がない。

その他

- ・板書したことや、プリントで示したことを覚えこむのは得意だが、応用的な問題に対して弱い。
- ・教科書・資料集・プリント教材などで判断する材料を与えているが、それほど難解な材料でないにもかかわらず、なかなか自分の考えをまとめられない。
- ・思考力・判断力をつけるような授業は、今まででなされてこなかったのであるから、低下しているのではなく、もともとそういう能力が低いと思う。
- ・歴史を論理的に考えないところ。
- ・既習の内容を他に活用することができない。
- ・歴史的な背景を述べさせたり、自分の意見を言わせたりしたとき。
- ・自分の力で調べることができない（歴史的用語だけでなく、日本語の意味も）。
- ・討論をつうじて、問題解決の糸口を見出すことができない。
- ・考え方の筋道に関心を示さず、結果や結論さえわかればよしとする傾向あり。
- ・課題を出したとしても、いちいちやり方や課題の提出を毎回説明しなければ、全く課題がでない。また、応用問題になると急にできなくなってしまう。
- ・得た知識の活用が求められるとき、推察力が求められるとき。
- ・原因や理由を考えてとらえることができない。

◎生徒は暗記を重視している。

- ・各自で考えるよう発問・指示しても、すぐ教材の中から正解のみを探そうとする。
- ・歴史的な個々の事象を、時代背景などと関連付けて理解を深めることをしない。
- ・歴史の時代背景を確認できていない。
- ・暗記重視のため、「なぜ」という問に答えられない。
- ・歴史的な事象を断片的に覚えるだけで、事象相互のつながりの中で理解しようとししない。
- ・因果関係を見逃して暗記しようとする。
- ・歴史を単なる暗記物としてとらえ、時代とのかかわりを考えていない。
- ・「考えること」より、「憶えること」をしがち。
- ・単語（歴史用語）の暗記に終始している。
- ・解答を暗記すれば勉強していると思う点。
- ・受験対策で覚えるべき事に振り回されている。
- ・一斉授業の中では、受身の姿勢で授業を聞き、ノートを取る事に精一杯で、それ以上の疑問や質問が出てこない。

◎自分の言葉で回答できない、文章が書けない。

- ・発問した際に、自分の考えがうまく伝えられない。
- ・自分の言葉で答えられない…質問・論述問題・レポートなどで。
- ・質問に対して単語でしか答えられない。
- ・文章をうまく書けない。
- ・言葉が貧しい、文章力がない。
- ・言葉による表現力や文章表現力が低いと感じる。
- ・生徒本人の主観に基づく考えを聞くときに低下を感じる。

◎興味や意欲がない。

- ・興味のないことは考えようとししない。
- ・興味のあることや好きなことには強い関心を示すが、逆にそうでないもの（これが多くを占める）には思考することをしない。そのため、偏った思考力や判断力といえる。
- ・授業への取組においても快・不快の価値基準が優先されているようだ。
- ・日本史で地域史の話題をしても興味を示さない
- ・現代社会の様々な事象に対する興味・関心がなかなかもてず、自分の考えや意見をもとうとししない傾

向がみられる。

- ・時事問題に疎いため、思考しなければならないことも判断停止していることが多く見られる。
- ・学習意欲そのものが乏しい。
- ・自分の狭い価値観で判断してしまう。自分の周りのこと（興味・関心のあること）しか考えておらず、その他については全く考えようとしないう傾向を見るにつけ思う。
- ・こちらが誘導していかないと考えようとしないう生徒が増えてきた気がする。つまり、動機付けがない。
- ・自らの興味・関心がないことに対しては、単純な知識の詰め込みに終始し、テストでいかに良い点をとるかだけを重視している。

◎「思考・判断」をするために必要な知識がない。

- ・思考・判断に至るまでの基礎的な知識の不足を感じる。
- ・基本的事項を知らないため、思考力も判断力もない。
- ・思考力・判断力以前に知識不足で思考判断する材料に欠ける。
- ・基礎力のなさから「考えさせる」段階にまで持っていけない。
- ・思考や判断のもとになる「基礎・基本」的事項に習熟していない、つまり「常識」を知らない生徒が多い。
- ・思考力、判断力の前提となる知識や常識が絶対的に不足している。
- ・言葉、地理的知識などを授業で質問しても答えられない。
- ・中学校での学習が十分に定着していないと感じるとき。

◎資料を読み取る力がない。

- ・教科書の内容が読み取れない。
- ・読解力の低下。
- ・地図や写真から地理的事象を読み取らせる作業や、地図を作成する作業において。図表から読み取る力が低下している。
- ・図表、資料を読み、どんなことが分かるか、どうしてこうなっているのかを考察させたとき。
- ・資料（史料・グラフなど）を読み取りさせたとき。
- ・短絡的な暗記の問題はよく解答できるが、論述や図表読み取りの力に欠ける。
- ・正誤問題の選択肢のどこがどのように間違っているかをきちんと答えられない。
- ・テストで事前の練習問題と同じ問題でないといけない。

◎自ら判断して行動できない。

- ・指示待ち生徒が増えている現状。
- ・自ら行動できない。
- ・物事を考えずに行動する。
- ・教員に事細かに指示されないと何もできないところを見るにつけ思う。
- ・生活全般における指導に対する行動・発言から。
- ・日常生活・学校生活全般（今は何をすべきときなのか、物事の優先順位）。
- ・日常生活や会話の中で。
- ・集団行動の場面で。

◎その他

- ・この質問は数学や理科の教員に対して質問している内容。
- ・常識に属するマナーやエチケットが全く定着していない。小中学校のあらゆる場面でそれを最優先させるべきなのに全くできていない。
- ・国公立二次試験の論述指導をしているとき。
- ・生徒が教科の内容を質問に来るとき。
- ・日常の体験を通して、抽象的な思考へ発展させようとするとき。
- ・どんな場面でも、自分の意見（意思）をはっきり示さない。授業のみならず、高校生活全般にわたり、

自分の意見をもつことが尊重される雰囲気がない。異論をもつことへの恐怖感すら生徒はもっているようだ。

- ・豊かな社会が実現したためであろうか政治的な思考力の低下を感じる。
- ・新聞について批評できず、論調を鵜呑みにする。
- ・学力の上位者と下位者の差の拡大。
- ・授業以外の様々な場面で、生徒の行動を見たり、発言を聞いたりしたときにそのように思う。
- ・全体を把握して計画を立てるとき。

Ⅱの2 「思考力・判断力」とはどのようなものであると思いますか。

<歴史>

◎歴史的事象を多面的に理解する力。

- ・既習事項に基づいた多面的な考察を背景に、歴史事項を分析すること。具体的には因果関係を推測したり、他の事柄と関連付けて応用化したりするなど。
- ・歴史は、多面的な分野が有機的に結びついて展開していることに考えを及ぼし、それが現代の問題を考える判断材料にできるようになること。
- ・多面的・多角的な歴史的考察力
- ・歴史事項を複数の観点から見ることができる為に必要な力。
- ・社会経済史や文化史を政治史との関係でとらえられる力。

◎歴史的事象の因果関係を理解する力。

- ・世界の諸地域の歴史に関係や、歴史的事象相互のつながり(因果関係)を理解する。現代が過去の歴史の中で成り立っていることを理解し、現代に生きる人間としての資質を養う。
- ・特定の歴史事象が起きるにあたっては、必ずその原因となるべき事象あるいは背景があるはずだが、その間の因果関係を正確に捉え、理解する能力。
- ・歴史における因果関係を把握する力。
- ・歴史上の事件を因果関係でとらえる力。
- ・事件の因果関係を汲み取る力。
- ・歴史上の出来事を、背景・因果関係から理解する能力。
- ・歴史的事象の背景・原因や影響を説明できること。
- ・史実から原因・結果を推論する力。
- ・歴史的事象のつながり、流れ、原因・背景等を結びつけ、理解できる力。
- ・歴史の背景・原因・理由・結果・影響を考える力。資料に対する考察力。
- ・歴史的事実の羅列に終わらず、なぜそのようになったのかを想像したり、事実をもとに考察したりすること。また、そこから自分なりの意見・感想をもつこと。
- ・歴史上の事件や出来事がどのような原因、背景で起きてきたかを推論することができる力。
- ・歴史的事象のつながり、流れ、原因・背景等を結び付け、理解できる力。
- ・歴史の背景・原因・理由・結果・影響を考える力。資料に対する考察力。
- ・歴史現象の因果関係を、教科書の叙述や授業から認識する能力。
- ・歴史事項の背景・要因に思いをはせ文章から読み取る能力をもち、その歴史事項の結果を導き出す力。
- ・歴史的事象について、原因・結果・影響など自身で考え、理解する力。
- ・歴史的事象に対する背景・原因への推理。
- ・日本史において言えば、資料を読み取り、そこから様々な事柄を推測したり、発見したりする能力や、一つの歴史的な事象がどのような背景で起こったのかを考察できる能力。
- ・歴史における相関関係を考え、事象を結び付けようとする力。
- ・歴史的背景を基礎として、歴史事象を理解する力。
- ・歴史的背景の中で考える。
- ・歴史的事実の羅列に終わらず、なぜそのようになったのかを想像したり、事実をもとに考察したりすること。また、そこから自分なりの意見・感想をもつこと。

- ・歴史的事実のみを覚えるのではなく、その時代背景を含めて、それぞれの時代を総合的に学び理解すること。
- ・歴史的出来事と歴史的出来事との関わりを「なぜ、どうして」という理由をもって説明できる。
- ・歴史的出来事を時代背景とのかかわりでとらえる。
- ・時代毎の歴史的背景を考えて、事象を理解する力。
- ・暗記した語句の意味や歴史的な背景を頭の中で結びつけて整理するという力。
- ・歴史的な事柄がいかんしておき、どのような結果をもたらしたかを理解し、現代的な視点でそれらをとらえ直すことのできる力。
- ・現実にかかる事象または歴史的な事象の背景を考察し、現在をより良く生きていくために判断することができる力。
- ・「いつ、どこで、だれが、なにを、どのように」を考える力、そして、それを追究できる力・具体化する力。
- ・何故という疑問を持ち、歴史という結果から考えうる解釈を導き出す力。
- ・歴史的な事項を結び付けることができるかどうか。
- ・事象と事象を結び付けることができるか。
- ・歴史の発展の分岐点に起きた事象を読み取る力。

◎歴史の流れを大きく総合的にとらえる力。

- ・個々の歴史的な事象を時代背景などと絡めながら総合的にとらえ、大きな歴史の流れをつかみ、現在の自分の意思決定に生かす。
- ・一つの知識・題材から、時間の流れ・空間の広がりや想像していくことができる力。
- ・ある事柄を、歴史の流れの中で理解していくこと。
- ・事実と時代背景を考えて歴史の流れをつかむこと。
- ・歴史的な事象の推移や空間的な広がりや理解する能力。
- ・歴史的事実のみを覚えるのではなく、その時代背景を含めそれぞれの時代を総合的に学び理解すること。
- ・歴史的な事象を断片的なものではなく、時系列の中でとらえていく力。
- ・時代の流れの中で、当該の事件などもつ歴史的意義を理解する力。
- ・ある出来事、事件がテーマとなっている時代や通史の中で、どのような位置付けがされているかを理解できること。
- ・「文化の多様性・複合性や相互交流を広い視野から考察し、その歴史的意義を考えることができる力のこと」だと思う。
- ・知識だけでなく、歴史を大きくとらえる力。
- ・グローバルな視点で世界史を考えていく力。
- ・同時代の歴史現象を横断的に把握する能力。
- ・同時代の異国間での動きに関連性があるかどうかを判断できること（例：19世紀の清の同治中興と、ドイツ統一の脅威による列強の中国政策手控え）。
- ・同時代史を総合的にとらえる力。

◎資料を読み取る力。

- ・資料、史料からそれぞれの時代を再構成する力。
- ・図説中に出てくる系図・写真・統計資料・地図などを読み取り、そこから歴史的に物事を考察していく力。
- ・資料から何らかの特徴を読み取る力。
- ・様々な資料を用いながら歴史的な事象を考察し、それに基づいて歴史の展開を把握していく力。
- ・資料等から、その時代がどのようなものであったかを考察できる。
- ・正確な史実の把握により、当時の人々の心性やその場面の判断がどのようなものであるかを理解すること。

◎過去の歴史から現在及び将来を考え判断できる力。

- ・歴史で学んだことから、自らの行動を選択、判断する力。
- ・過去から現在をとらえ、未来に生かす力。
- ・歴史の結果から学び、次の時代を考えることができる。
- ・現在の世界の状況を歴史に照らして考える。
- ・歴史的経緯を理解しつつ、その結果を予測し、又、歴史的結果を分析し将来に役立てる。
- ・歴史的事象を踏まえて、現代における諸問題を考察する力。
- ・歴史的経緯を理解しつつその結果を予測し、又、歴史的結果を分析し将来に役立てる。
- ・歴史を材料に現代社会で起こっている様々な諸問題を理解し、未来に向けてどうすればよいのかを考え判断することができる力。
- ・現在の世界の状況を歴史に照らして考える。
- ・過去の事象から将来の事象を予測する力。
- ・現在の社会や生活と過去のつながりを理解する力。
- ・過去の事象を分析し、未来を予測できる能力。

◎帰納的又は演繹的に考える力。

- ・基礎・基本的で個別的事実から、他の歴史的事実を推論する、あるいは導き出す能力。
- ・歴史的事実からその特質を見出す能力。
- ・歴史的事象が発生した当時の様々な要因を知り、結果を予測できる能力。
- ・知識を系統立てて整理し、使えるものとする。
- ・世界史に出てくる様々な出来事を分類する力。
- ・新しく学ぶ事件について、分類した出来事のどれに似ているのかを分析し、その後の展開を類推する能力。また、予測が外れた場合にその原因を考える能力。
- ・いくつかの具体的事実から一般的、概念的な知識を導き出す力。

◎その他

- ・歴史上の偉人の判断・決断を追体験すること、理解すること。
- ・歴史の想像力。
- ・歴史上の様々な事象を説明する文章に出会った際に、その書き手の持っている価値観・価値体系をつかむことができる力。
- ・歴史を学ぶうちに“何か”残る。大切なのは広い知識。その中から興味あるテーマにぶつかる。
- ・歴史に学ぼうとする姿勢。
- ・歴史現象を地理的に把握する能力。

<地理>

◎事象を自ら考察する力。

- ・地理的事象を、自然的環境や社会的環境の視点から説明する力。
- ・日本以外の地域、現代以外の時代に向けて空間的・時間的な隔たりを越えて、現象をとらえることができる。
- ・世界の地域の共通性、特異性が何によって生み出されているかを考え、疑問や質問を發する。
- ・多くの地理的知識・事象を理解し、自己の問題としてとらえる力。
- ・世界の諸地域と自分の生活圏を比較し、その違いをとらえる力。
- ・自己の生活圏の時間的変化を知り、将来の問題を考える力。
- ・「なぜ〇〇（地域名）では△△なのか」という疑問に対し、様々な角度から洞察する力。

◎資料を活用できる力。

- ・地図を見てイメージできる。
- ・統計、グラフ等の資料により、社会的事象をいかに分析する力があるか、また、地域性などをいかにより端的に判断できる。

- ・地図とか統計資料を判読し、意味のある文脈につなげる力。
- ・身近な地理的環境から全地球的な規模の地理的環境まで、様々な人文的・自然的事象の成り立ちや相関を、資料・地図や体験などから読み取って考察し、問題点やよりよい在り方を考える力。
- ・地理学習では、分布図等の図表読解、課題研究で資料・図表を作成する力。
- ・地図・地形図・統計図表などから読み取る力及びそこから背後にある事柄を洞察する力。

<公民>

◎多角的視点から理解する力。

- ・多角的視点から、一つの事象を理解する力。
- ・幅広い視野で物事をとらえ、自ら考え行動できる能力。
- ・一つの経済事象が他の分野にどのような影響を与えるかを考える力。
- ・広い視野・視点、あるいは長期的なスパンで、多面的に考察できる力。
- ・偏らずに複数の視点をもった上で結論を導く力。
- ・どちらかが正答であるかの判断ではなく、多くの設定要素により可否の判断をする能力。
- ・一つの事象に対して、2次元3次元的にも見通す力。
- ・短絡的に判断せず、単に表と裏、本質を理解しようとする思考・行為。
- ・各事象の意義や後につながる影響を考える・想像する力。

◎因果関係を理解する力。

- ・現代社会との因果関係を理解する力。
- ・因果関係を把握する力。
- ・因果関係を考える。個々の事象から導き出されることを考える。
- ・現代社会が抱えている諸問題について考え、その原因などを突きとめていこうとする力。
- ・原因を分析し、結果と結びつけ、因果関係を明確にし、社会の本質を浮かび上がらせること。
- ・物事の原因や結果・影響について理解し、判断する力。
- ・「なぜ」と問う思考、疑問に思う力。
- ・重要語句の羅列・暗記などではなく、原因と結果を結び付けて理解できること。
- ・正確で質の良い「知」が重層的に注入されれば、因果関係などを論理的に把握できるはずだ。そのきっかけは生徒自身による。教員ではない。
- ・用語等の基礎知識を理解した上で、それらを活用して、出来事の原因や影響を考察できる。
- ・現実の問題やニーズを、仮説を立ててみるとか、将来の予測仮説を立てて、その次に情報収集を行い、情報の真偽を評価し、分析し問題の歴史的因果関係や現在の構造的関係を分析する。

◎論理的に考える力

- ・物事を、筋道を立てて考える力。たとえば、発生した事実の因果関係を探ったり、法律や制度が、なぜ、どうしてできあがったのかを探求したりする力が思考力であり、人類にとっての善なるものを見極めるのが判断力と考えている。
- ・自己の知識をもとにして関連あること（または、全く別のことでも）を論理的、段階的に推察できる力、またそれを証明する力
- ・参考資料に基づき論理を組み立てることと今後の問題点の考察ができること。
- ・論理的に考えること。
- ・論理性を追究していくこと。
- ・「問題」についての論理的把握、論証、説明、自己の価値観に基づく判断。
- ・背景や基礎的事項を踏まえた上で、一事項について考察する力。

◎資料を収集し、読み取り、分析・判断できる力。

- ・多様なデータや知識を駆使して自らの考えや結論を導くこと。
- ・必要なデータを収集し、取舍選択し、論理を組み立て、結論を出す。
- ・自分で課題を発見しそれを解決するための資料を集め、考察するような能力。

- ・正しい情報を頭の中で整理，活用する力。
- ・資料を調べる能力。
- ・統計やグラフの数値と社会の事象の関連を読み取る力。
- ・グラフ，図表などに対して「なぜそうなるか，どのようにしてそうなったのか」という想像力。
- ・グラフなどからの読み取る力や応用力。
- ・グラフを読み取ったり，分析したりする能力と，客観的に判断できる能力。
- ・資料（新聞）を読み，理解し，意見を言う（書く）ことができる。

◎合理的根拠に基づき公正に判断する力。

- ・社会の中で起こる様々な現象について，法律など合理的根拠に基づき公正に判断する力であり，その社会を健全に批判する力であると思う。さらには，それらの力をもとに主体的に生きる力であると思う。
- ・こういう場合どうすべきかと判断する力。
- ・一つの説を選ぶことでその考えのプラス，マイナスをきちんと理解し，かつ，それを踏まえて論述できる力。
- ・社会的事象を主体的に考察し，公正に判断する力。

◎課題を解決することができる力。

- ・課題についての解決能力。
- ・課題に直面したときに解決するために必要な能力である。
- ・政治・経済における実情を分析し，問題点をいかに解決するかを思考・判断する力。
- ・自分たちが現に直面している問題をどうとらえ，どう解決するかを考える力。
- ・自身が獲得している知識を様々に組み合わせ，課題に立ち向かおうとすること。
- ・現代社会においては，メディアリテラシーが大切。現代社会における諸問題を，どれだけ自分とかわりをもって思考できるか。
- ・これからの国家，社会，世界の在り方を主体的に考え，具体的な問題解決方法が出せる能力。

◎自分の言葉で自分の意見をもつことができる。

- ・出題者の意図を理解し，的確な表現でまとめる力。
- ・社会的課題についての自分なりの考え方がもてること。
- ・自分なりの意見を持ち，それをうまく伝えたり，そう考える理由を述べられたりすること。
- ・その事項に対する自分の考えをもてるかどうか。
- ・自分は「こう思う」という自分の意見をきちんともつことができる力。
- ・自分の言葉で述べられるか。
- ・生徒に年齢差や個人差があっても一概には言えないが，時事問題に強い関心を持って，それに対する自分の考えをもっている生徒がいる。
- ・現在の社会・経済・地域の実情を理解し，それを踏まえながら，自分なりの答えを見つけ出せるようになること。
- ・現在どのような方略を採るべきか，自分の考えをまとめる。
- ・社会的問題に対するコメント力。

◎その他

- ・批評する精神や検証しようとする姿勢。
- ・基本的に「知識」をしっかりと身に付けていない段階で，思考力・判断力を身に付けることはできないと考える。「知識」があることが前提であり，それを身に付けさせる必要がある。その上で知識を組み合わせ，そこから未知のものを類推する力を「思考力・判断力」と言うと思う。
- ・現在を過去と結び付けて考える力。
- ・経済分野では，理論面と現象面を関連させて考える力。
- ・今日の社会情勢とかそれぞれの民族性を，過去との関係で関連付けること。

- ・自分自身の生きている現実の社会における諸問題を先哲の思想を手掛かりとして読み解き、望ましい解決方法を考え出す力のこと。
- ・既知の知識を活用し、状況を思考する能力。
- ・現代社会に対する現状分析ができる力。
- ・今まで中学校で学習してきたことを関連づけて、高校の学習を理解すること。
- ・「人の話を聞く」という態度と理解力、国語力。
- ・思考力も判断力も知識がなければできない。従って、知識をもっと確認してからの問題だと思う。
- ・センター試験が解ける力。

Ⅱの3 「思考力・判断力」の育成についてどのような工夫をしていますか。

<発問>

◎「なぜ～なのか」といった問題意識をもたせる。

- ・「なぜこうなったか」、「あなたならどうするか」など授業中の質問により歴史のできごとについて思考・判断するようにしている。
- ・どうして、なぜという問いかけの言葉を入れながら、授業を実施し、生徒に考えさせる時間を与える。
- ・発問で「なぜ？」を問いかけ考えさせる。
- ・発問の際、なぜを問うようにしている。
- ・発問は単に答え（用語）ではなく、何故かを答えさせるように心掛けている。
- ・「なぜか？どうして？」という理由を考えさせるよう発問している。
- ・「なぜ？」という発問から授業を展開していく。
- ・授業の復習を生徒に質問することで、考えさせる。
- ・毎時間、授業の初めに復習を兼ねた発問から入る。その際、時代背景などを意識させ、生徒にできるだけ具体的なイメージを持たせよう意識している。
- ・単なる知識、語句を設定するのではなく、「何故そうなるのか」「あなたはどう思うのか」という発問をするように心掛ける。
- ・発問において、知識そのものを確認する問いではなく、原因・結果を予測させる問いを工夫している。
- ・なぜそうなったかについて、考える時間をつくり、発問形式で授業に反映させている。
- ・歴史の流れが理解できるようかなり細かい点まで黒板に書いて示し、それに関してよく質問を繰り返すよう努力している。
- ・積極的に発問し、生徒の答えや考えに対応して授業を展開する。
- ・世界で起きている諸問題を生徒に提示し、発問し、その背景を考えさせる。
- ・文書資料（基礎・基本レベルを除く）を読ませながら、その内容について発問する。
- ・時事的な問題を提示して、問い掛け、考えさせている。マスメディアの考えに流されないように工夫している。
- ・読図学習では、地形図の模型を作って、尾根と谷を明確にし、河川の集水域を理解させ、ダム建設問題を考えさせた。グラフや統計表を見て、「なぜ」「君ならどうする」「どうしてこのような結果になったか」の発問をする。同じ地域の略図を複数板書して、それを重ね合わせて考えさせる。

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・知識のみを問う発問だけでなく、様々な地理的事象の関連性などについて問う発問を行う。
- ・基礎的な人物・事件等（小学校の教科書レベル）について、全く違った視点からの発問をし、答えを考えさせる（例、加賀の一向一揆を打倒した人物はだれか）。
- ・発問により、歴史現象の因果関係や横断的なつながりを考えさせる。
- ・一つの質問を全員に問い掛け、比較させることで視点・視野を広げさせる。
- ・オープンエンドな問題で、いろいろな角度からいろいろな意見があることを、できるだけたくさんの生徒に問い・聞かせる。

◎個人的思考と集団的思考とを組み合わせる。

- ・授業の前半でシンキング・タイムをとる。その場で作らせた任意のグループに発問して答えさせる。その中で、こちらが期待した回答と一致したものをもとに授業展開していく。ただし、シンキング・タイムは5分程度とし、授業の緊張感をそこなわないように配慮する。
- ・発問は個人でなく周囲の生徒同士で話し合わせる。

◎真偽や価値の判断を迫る。

- ・自分が歴史上の人物（例えば平清盛）であったとしたら、どのように考えどのような行動をしたか、というような自分の立場に置き換えて答えられるような質問をする。
- ・自分の考えを述べるような質問を多くするようにしている。
- ・世間で話題になっていることや過去の事実に対して生徒自身の考えを求めるような発問を工夫している。
- ・歴史的な意義を生徒に答えさせたり考えさせたりする発問をする。
- ・「自分がその歴史的状況におかれていたら、どういう決断をするか。」という発問をする。
- ・発問に対し、どのような資料が有効か、どのように調べるのかが有効かを、考えさせる。
- ・授業中に時事問題を取り上げ、生徒の発言を求める。
- ・授業の中での問題提起をしたり、発問の中で生徒に意見を発表させたりしている。

◎考える道筋、考え方を、自ら理解し他者にも分かるようにするための方法を教える。

- ・歴史上の出来事と、その原因と思われる事象または背景との関係を見付けさせようとする際に、幾つかのヒントを与え、何とかその一端にでも思いを至らせるような発問を工夫する。
- ・発問時に、段階を踏んで原因を探究させている。
- ・発問は生徒の反応により、修正を加える。
- ・質問して答えられなければ、幾つかの選択肢を与える。
- ・正しい答えを導くまで、ヒントを与え続ける。
- ・授業時に発問するときに、単語ではなく文章で回答させる。

<板書、ノート、ワークシート、プリント、資料の活用>

◎「なぜ～なのか」といった問題意識をもたせる。

- ・板書においても空白にして考えさせる。
- ・授業時に、授業プリントの中で作業する場を必ず入れ、作業を通じて考えさせ、気付かせる工夫を取り入れている。
- ・ノートをまとめる際、テーマに応じたまとめになるように、平易で取り組みやすい疑問を設定し、各自でまとめて提出の形をとる。
- ・通史を授業で扱う際に授業プリント・ワークシート・板書の中に必ず「～は何故でしょう？」「～は何故だと思いますか？」の質問項目の一つは入れるようにしている。
- ・歴史的な事象を「なぜ、そうなったのか」という視点で考えさせるテーマを盛り込んだ授業プリントづくりをしている。
- ・ワークシートの空欄補充。
- ・統計、資料の写真から、そこでの自然、生活を結び付けて考えてみる。
- ・図・史料を読ませ、その時代の状況を意識させる。
- ・写真を見せる。
- ・地図を用いて、領土の変遷を示して、歴史の流れを問う。
- ・思考や判断を促すために、地図や写真から地理的事象を読み取らせる作業や地図を作成させる作業を行う。また、地図の作成を行った後、その事象の背景や影響などを文章化させる。
- ・考えさせる過程を重視…質問・論述問題・授業プリントなどで。
- ・「歴史小説」「映画」などの話を取り入れている。

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・できるだけ資料（特に統計とグラフ）を多く提示し、何が読み取れるかを問うことに心掛けている。
- ・教科書を熟読、教材プリント内容を把握。そして立場を変えてみることで、明暗が分かれることを理解させる。日本の立場、中国の立場は違う視点に立つことになる。
- ・鎌倉時代の絵巻物を見せて、その絵から気付いたことを次々と挙げさせ、その時代の生活や風俗、習慣の特色や他の時代との違いを考えさせる。
- ・図版などを見せ、気付いたことを述べさせる。
- ・プリント作成の際、同時代性を意識している。

◎個人的思考と集団的思考とを組み合わせる。

- ・授業プリントの中に自分の考えを述べる発問を入れておき、生徒に発表させる。全ての意見を黒板に板書し、他の生徒の意見に対しても、また、意見を求める。

◎真偽や価値の判断を迫る。

- ・絵画資料等から、その中に描かれている特徴を考えさせてノートに書かせ、その場で評価していく。
- ・詩やビデオの感想文や具体的事項に関して「自分ならこうする」というレポートの作成。
- ・ワークシートの設問に自己の意見を述べるものを必ず入れる。
- ・教科書や教材を補足して、生徒に思考・判断の材料を提供する。
- ・プリント学習で使用する際の資料の精選。なるべく自分で調べ、考えられる内容の課題などを与えている。板書はシンプルだが思考がスムーズに行えるように努力して書く。

◎考える道筋、考え方を、自ら理解し他者にも分かるようにするための方法を教える。

- ・ノート作りに力を入れている。授業はちょうど数学という例題のようなものと考えている。未完成のプリントを配付して完成させていくのだが、色分けなどをさせて単元の内容が十分構造化されていくよう配慮し、歴史的に物事を考えていくというのは、どのように考察していくことなのかが分かるように構成を工夫している。
- ・プリントにおいても考えさせる項目を用意している。
- ・単語を入れるのではなく文章を記入するプリントを作っている。
- ・資料集のグラフを見るとき、どこに注目するかを考えさせる。
- ・読み、書く作業をやらせたいと思う。
- ・授業を始めるときに今の考えを書かせ、授業後に自分の考えが変化したかどうか確かめさせる。
- ・プリント、授業書（植田式）。

<レポート>

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・アンケートを繰り返す。深みのある答えを自ら考えるように導く。アンケートの全員の集計文を読ませ、深めた問いでアンケートを繰り返す。
- ・脳死臓器移植の是非について、レポートを発表させ、他の意見を聞いた後、再び自分の考えをまとめさせるレポートを課した。
- ・生徒がレポートにまとめたものを、グループ内(3～4人)で回し読みしている。(コメントを書かせる)

◎個人的思考と集団的思考とを組み合わせる。

- ・レポートをグループ内で相互評価させて、他人のレポートから学ぶ機会を設定している。

◎真偽や価値の判断を迫る。

- ・レポート課題に対して、調べた事実のみでなく考察（自分の考え）を書かせ、評価の重点項目とする。

<発表>

◎「なぜ～なのか」といった問題意識をもたせる。

- ・生徒が事項をイメージしやすいように、できるだけ図版を用いて時代背景や人物像などを説明し、問題提起をする。考察する時間をとり、指名し生徒の考えを発表させている。

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・精選されたテーマについて、なるべく多くの生徒に発言させ、多面的な考え方があることに気付かせる。
- ・時事問題等について順番に書かせ、教科日よりして全員に配布。授業の中で意見が言えるようにしている。

◎個人的思考と集団的思考とを組み合わせる。

- ・社会的論争問題を取り上げ、議論を含めた授業展開を行う。
- ・意見発表・それに対する反論。
- ・授業中に答えるべき論述的な問題を、最低1題は提示する。それをまずは一人で考えさせ、その答えをもとに隣の他者のやりとりを経て、初めの答えを修正させる。
- ・グループ討論。
- ・考えに行き詰ったときは、グループで話し合わせたりしている。
- ・生徒にグループをつくらせ、自分の考えなどを発表させ、グループ内で意見集約をして検討させていく。
- ・やや難しめの問題を近くの者で相談させた上で、順次答えさせる。
- ・授業中に問題を設定し、発表時には、特別なシールを与え、積極的に参加させる。

◎真偽や価値の判断を迫る。

- ・新聞を読み、意見・感想を述べる。
- ・ディベートなどを取り入れている。

◎考える道筋、考え方を、自ら理解し他者にも分かるようにするための方法を教える。

- ・ブレインストーミングやKJ法などの手法を用いて、毎時ごとにその単元にかかわるテーマについて、その日獲得した知識と既存の知識を利用し、自ら思考させ、討論させている。その際、思考プロセスの明示化を通じ、思考方法の定着を目指している。

<定期考査、小テスト>

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・定期テストでは1年生の1学期考査から論述問題を出題し、考えさせる問題を出題している。解答させる字数を少しずつ増やし、3学期の考査では200字を出題している。生徒のほとんどが白紙ではなく、しっかりと取り組めるようになってきた。
- ・小テストを行い、友達同士で解答の答え合わせをさせる。

◎真偽や価値の判断を迫る。

- ・意見や理由を問う設問をする。

◎考える道筋、考え方を、自ら理解し他者にも分かるようにするための方法を教える。

- ・短い解答文であっても、①主張があるか、②オリジナリティがあるか、③論理的かを評価規準としていることを生徒に示す。
- ・問題演習などで、正誤判定問題を数多く取り入れ、その誤文についてどこが間違っているかを考えさせるようにしている。

<授業全般>

◎身近な現在の話題を取り上げる。

- ・新聞やニュースなど、身近な話題から入り、学習指導要領につながる項目について学習させる。
- ・日頃の生活の中で授業と関連のあることを選び、それに対する自分なりの意見を5分程度でまとめさせる（現代社会の授業では、地球環境問題や市場経済の仕組みなどを扱った）。
- ・定期考査終了後の比較的ゆとりのとれる期間に、「フリーター」・「ニート」・「コンビニ」などの時事的内容をテーマに身近な問題として考えさせる時間をとっている。
- ・なるべく生徒が興味のもてる授業を心掛けている。そこから自分たちで考えていけばよい。
- ・授業導入部又は不定期的に時事解説。

◎現在と過去とを比較させる。

- ・歴史的事象を現代の事象に置き換えて考えるように示唆する。
- ・現在の問題を、過去の歴史から学んだことを材料に考えるということを、生徒に働きかけている。
- ・歴史事項の時代と現代の比較を通して、人間の生き方に相似・相違点があることに気付かせる。
- ・歴史的事象を今の社会と比較させる。
- ・歴史は多様な要素が絡み合い、また現在の事象とも密接につながっていることを、折に触れて生徒に提供する。

◎因果関係を考えさせる。

- ・なぜそうなったのか、その原因を考えさせる。
- ・歴史的事象の因果関係を考えさせる。
- ・歴史的背景を理解させるように心掛けている。
- ・結果（歴史の事実）を提示し、どうしてそのような結果に至ったのかを、ヒントを与えながら考えさせる。
- ・一つの事象が他の事象にも関連しているのだという理解を深めさせるようにしている。

◎多面的・多角的に考察させる。

- ・知識を得るだけでなく、常に疑問、別の視点から見た確認などが求められる授業展開。
- ・単純で簡単に学習するのではなく、いかに複雑に学び、考えていくかという学習スタイルの確立。
- ・現在の入試問題は知識だけでは解けないことを実例で示し、繰り返し強調する。
- ・基本的には、対立する意見・見解があるということを提示すること。

◎その他

- ・単元・授業ごとに何を思考・判断させるのかを明確に示す。
- ・思考力の前に、思考のもととなる内容を教え、それについて考えさせる。
- ・授業に沿って、あるテーマを深く追究（脱線）したときに、生徒に材料を与える。
- ・まず、一番はじめは基本的知識量の不足が重大な問題だと思う。基礎知識の定着に努める。
- ・基礎学力・基礎知識を付けさせることが先決である。
- ・教科書から読み取らせる工夫…アンダーライン・要約など。
- ・授業を聞き逃させない、見逃させさせない工夫…ポイントを見付けさせる。
- ・毎回の授業で、最低1題は複数の知識を用いて答えさせるような論述課題に取り組ませている。
- ・歴史に関する本を読むように勧めている。
- ・「この国に生きる人」として、自国の歴史に対する関心と基礎的な力を身に付けることに重点を置いている。

Ⅱの4 「思考力・判断力」育成のための課題〔普段〕

<新聞>

◎要約させる，自分の意見を書かせる，発表させる。

- ・新聞のコラムを読んだ感想や意見を書かせる。
- ・新聞の切り抜きを発表させる。新聞記事について自分の意見を書かせる。
- ・新聞記事を紹介して自分なりの意見とその理由を述べさせる。
- ・世界の出来事に関心を持つように，普段から新聞を読むように指導していく。
- ・現在の世界の動きで歴史とのつながりを常に念頭において，新聞やTVのニュースを見るように促している。
- ・新聞記事の内容要約，感想，意見を聞き，発表させている（1年現社を担当した場合）。
- ・授業最初に，時事ニュースを切り抜いて要約し，自分のコメントをして発表させる。

<ワークシート，プリント>

◎背景・影響の文章化，教科書の読み取り。

- ・地図や写真から地理的事象を読み取らせる作業や地図を作成させる作業，また，地図の作成を行った後，その事象の背景や影響などを文章化させる。これらを行うためのワークシート。
- ・課題は，授業時間内に完成できなかったワークシート等を家庭に持ち帰らせているという意味合いのものになってしまっている。
- ・教科書の内容を読み取ることで完成させる穴埋め式のプリント。
- ・基本知識を正確に身に付けるためのプリントを何度も課題とする。

<レポート>

◎調べさせる，自分の意見を書かせる。

- ・人物学習，テーマ学習のレポート提出。
- ・図書館で自分のテーマで調べ学習。
- ・歴史的事件に興味のあることについてのレポート等。
- ・授業の中で提示する詩やビデオの感想文や具体的事項に関して，「自分ならこうする」というレポートの作成。
- ・一つの例として，裁判事例を取り上げ，自分の判断・意見を書かせる。または，資料を提供し，何かを読み取らせたり，どうしたらいいかを書かせたりする。

<ノート>

◎回覧，板書事項以外の書き取り。

- ・授業記録ノートを輪番制で回している。
- ・授業ノートの回覧。
- ・授業ノートを，板書を写すだけでなく，出来事の背景等についてもメモするように促し，それを平常点として評価する。

<その他>

- ・教科書を見てできるまとめ学習的なものの次に，グラフ等を見て自分で考え判断できるようなものを入れるようにしている。
- ・書物の抜き書き。
- ・対をなす考え（太陽暦と太陰暦，一神教と多神教）を調べさせる。
- ・地名を地図帳で調べさせている。
- ・読書指導（効果はないようだが）。
- ・考査で論述問題を多く出題することで課題に代えている。
- ・普段は課題を出していない。50分の授業で勝負している。

Ⅱの4 「思考力・判断力」育成のための課題〔長期休業時〕

<新聞>

◎調べさせる，要約させる，書かせる，発表させる。

- ・「現代社会」を担当しているときは，新聞のコラム（天声人語など）や社説の中から自分の興味のある記事を5日分程取り上げて，語句調べをさせ，要約と感想を記すという課題を実施していた。
- ・興味を持った新聞記事の切り抜きをプリントに貼り，その記事の分からない用語を調べ，記事を要約し，感想・意見を書かせて提出させている。
- ・夏期は，新聞でテーマ（例・平和，人権）に関する記事を選び，知りえたことと考えたことをレポートさせる。
- ・新聞記事の内容要約，感想，意見を聞き，発表させている（1年現社を担当した場合）。
- ・新聞の記事を選択させ，記事の内容のまとめと感想を書かせている。
- ・新聞のスクラップを作り，それについてコメントを書かせる。
- ・自分の生まれた日の新聞を読み，当時の様子を再現するレポート。
- ・「現代社会」での新聞発表とレポート。

<レポート>

◎時代との関連性・事象の成因・地域の特殊性を考えさせる。自分の意見を書かせる。一定の形式でまとめさせる，発表させる。

〔自由テーマ〕

- ・現代社会の課題について，自分でテーマを設定しレポートにまとめさせる。
- ・現代社会の諸問題に関するレポート。
- ・以前，「地理」教材において，グループごとの地域調査を課したことがある。事前指導のあと，調査するテーマ・調査方法を自分で考えさせ，まとめ方などを工夫させた。
- ・現在の社会問題をまとめさせ自分なりの解決策を論述させる。
- ・レポート（インターネットで調べさせる。自分の意見・感想を必ず述べる。）
- ・環境などのテーマを一つ決め，それに関して調査，研究した内容を「新聞」としてまとめさせている。
- ・テーマを見付け，博物館等で調べ，レポートを提出させている。

〔特定テーマ〕

- ・小論文やレポートを課し，社会的事象についてテーマを設定し，まとめる。
- ・「EU統合の過程を自分なりにまとめ，今後EUはどのように展開していくかを述べなさい。」などという内容の課題に取り組ませた。
- ・現代をうつす3枚の写真を撮らせ，コメントを付けさせる。
- ・自分の家にあるもっとも古い物を解説させる。
- ・子供の頃の遊び，替え歌を書かせる。
- ・「地元紹介」「我が家の雑煮」レポート。
- ・ナショナリズムについての調べ学習。
- ・「脳死臓器移植」について調べさせる。
- ・修学旅行の行き先について調べさせ，発表させる。
- ・歴史をテーマにした映画を見て，考えたこと・思うことを感想文の形で書く。
- ・テーマを与えた上で調べさせ，新聞形式やプレゼン形式による発表型の課題。
- ・世界遺産・世界史英雄などのレポートと世界史クロスワードなど。
- ・企業見学によるレポート。
- ・歴史新聞を作成させた。
- ・裁判所傍聴記録の提出及び感想文。

〔地域レポート〕

- ・地域に関するレポートとして，自分が居住する市町村の歴史について調べさせ，時代との関連性を考察させる。
- ・学校周辺が描かれている地形図の土地利用図を作成させ，学校や集落その他の立地条件や，地図中の

事象の成因について考えさせる。

- ・自宅の周囲の地図を作成させ、父母や祖父母の時代とどのように変化してきたかを調べ、その地域の特殊性についてレポートを出させた。
- ・地形図に色刷りさせて土地利用図を作成させ、地形の特色や土地利用の地域性を考えさせる。
- ・地域調査レポート。
- ・身近な史跡や文化財などを調べることにより、地域史についての理解を深めると共に、歴史の流れを考える材料とする。

〔人物レポート〕

- ・歴史上の人物や身近な人物について調べ、レポートさせる。
- ・教科書に記載されている明治文化に貢献した人物を時代背景とともに調べる。
- ・歴史上の人物（世界史）で興味・関心のある人物について、レポートにまとめる。
- ・歴史上最も関心のある人物や出来事について調べさせて、自分の考えをレポートにまとめさせる。
- ・歴史小説の一例や歴史上の人物について書かせて、提出させる。

＜その他＞

- ・問題演習プリントに、どうしてその解答になるのか、なぜこの答えではいけないかを書き込ませ、平常点として評価する。
- ・「子供新聞」を子供たちにわかりやすく課題を解説し、その解決方法を提示させる。
- ・冬期は、学年担当者全員で選んだ現代用語100語を調べて解説させる。
- ・世界史に関連のある映画・ビデオ・テレビ番組を見させ、感想等を書かせている。
- ・3年生で論述（100字程度）の入試問題を補習で答えさせる。
- ・400字程度の論述問題を解答させる。
- ・歴史的人物の伝記などを読むように勧めている。
- ・白地図に、課題を与えて表現させる。
- ・書物から抜き書きさせたものを再構成させる。
- ・インタビューなどの体験をさせる。

Ⅱの5 定期考査 その他の形式

- ・提示されたデータをもとに、地図を作成する問題（階級区分図や等値線図の作成など）や、略図・略画を描く問題（サバナ気候での植生図の作成など）。
- ・複数の図（グラフ）から正しいものを選ばせる。
- ・グラフ・資料（史料）を読み、一問一答形式で解答させた。
- ・絵を描いて文章や語句で説明する。
- ・計算問題を、授業で学習した条件と異なる条件で出題する。
- ・一問一答式の設定。
- ・定期考査には毎回時事問題を出題。
- ・問：マゼラン一行は世界周航を成し遂げたとき、なぜ1日のずれに気付いたか？
- ・問：二圃制から三圃制に移行したとき、土地利用率はどのくらいだったか？

Ⅱの6 定期考査以外での評価場面・方法

- ・授業や主題学習で作成した、ワークシートを評価の対象としている。
- ・新聞記事の抜粋・要旨・意見のまとめを全員に印刷して配付し、授業でコメントをつける。
- ・掃除、クラス、授業、部活などの仕事をやらせればよい。授業で習ったことが「仕事」の中で少しずつ活用されるように指導することがよい。
- ・その他として、「総合」の時間を通して、思考力・判断力を育成するのは有効だが、そのためには多大な準備・指導等が必要である。